

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-230411

(P2002-230411A)

(43) 公開日 平成14年8月16日 (2002.8.16)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6 5 B 0 7 5
	3 2 4		3 2 4
	3 3 0		3 3 0
	5 0 4		5 0 4
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
審査請求 有 請求項の数49 O L (全 26 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2001-28882 (P2001-28882)

(22) 出願日 平成13年2月5日 (2001.2.5)

(71) 出願人 500053160

株式会社イサオ

東京都港区赤坂一丁目12番32号

(72) 発明者 高倉 鉄夫

東京都港区赤坂一丁目12番32号 株式会社  
イサオ内

(72) 発明者 佐藤 正臣

東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 株式  
会社シーエスケイ内

(74) 代理人 100089118

弁理士 酒井 宏明 (外1名)

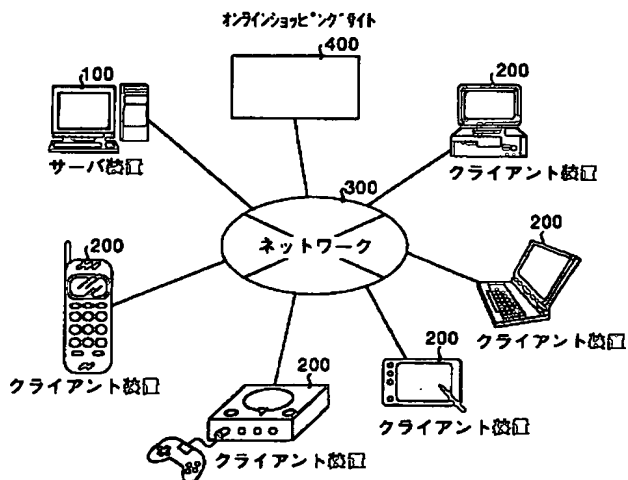
Fターム(参考) 5B075 ND20 NK46 PQ05 UU24

(54) 【発明の名称】 コミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメン  
ド方法、および、プログラム

(57) 【要約】

【課題】 簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができるシステム等を提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明にかかるシステムは、サーバ装置100にネットワーク300を介して接続された複数のクライアント装置200を用いて、各クライアント装置200の利用者が相互にコミュニケーションを行う。サーバ装置100は、オンラインショッピングサイト400が販売する商品に関する商品情報を格納し、第1の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信し、受信したリコメンド依頼に基づいて、第2の利用者に対して、第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にする。



## 1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コミュニケーション情報処理装置にネットワークを介して接続された複数の情報端末装置を用いて、各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うコミュニケーションシステムであって、上記コミュニケーション情報処理装置は、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手段と、第1の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手段と、上記リコメンド依頼受信手段により受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするリコメンド手段と、を備えたことを特徴とするコミュニケーションシステム。

【請求項2】 ネットワークを介して複数の情報端末装置に接続されるもので、これら各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成するコミュニケーション情報処理装置であって、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手段と、第1の利用者が第2の利用者に対して所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手段と、上記リコメンド依頼受信手段により受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第2の利用者の情報端末装置に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするリコメンド手段と、を備えたことを特徴とするコミュニケーション情報処理装置。

【請求項3】 上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記関係者格納手段にて第1の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする請求項2に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項4】 上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手段と、上記リコメンド依頼にて上記第1の利用者が推薦した上記商品の上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手段と、をさらに備え、上記第2の利用者は、上記利用者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項2または3に記載のコミュニケーション情報処理装置。

## 2

【請求項5】 上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項2～4のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項6】 上記利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、リアルタイムメッセージ手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項2～5のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項7】 上記第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項2～6のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項8】 上記利用者の間で電子メールを送受信する電子メール送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、電子メール手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項2～7のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項9】 上記第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項2～8のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項10】 上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライントーク手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、オンライントーク手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項2～9のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項11】 上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項2～10のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項12】 オンライントークを行っているとき

## 3

に、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手段、

をさらに備えたことを特徴とする請求項 2～11 のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項 13】 上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手段をさらに備え、

上記リコメンド手段は、ホームページ提供手段を用いて、第 2 の利用者に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項 2～12 のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項 14】 上記第 1 の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手段をさらに備え、

上記第 2 の利用者は、上記ホームページアクセス者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項 2～13 のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項 15】 上記リコメンド手段は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第 1 の利用者が勧めている上記商品に関する上記商品情報、および、上記第 1 の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを上記第 2 の利用者の情報端末装置に対して通知可能にすることを特徴とする請求項 2～14 のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項 16】 上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに対して、上記第 1 の利用者が上記第 2 の利用者の上記情報端末装置に対して上記商品を勧めている旨を、通知可能にすることを特徴とする請求項 2～15 のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項 17】 ネットワークを介してコミュニケーション情報処理装置に接続されるもので、各情報端末装置の利用者が上記コミュニケーション情報処理装置の制御により相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成する情報端末装置であって、オンラインショッピングサイトが販売する商品について第 1 の利用者が第 2 の利用者に対して推薦するためのリコメンド依頼を、上記コミュニケーション情報処理装置に対して送信するリコメンド依頼送信手段、を備えたことを特徴とする情報端末装置。

【請求項 18】 上記リコメンド依頼送信手段により送信された上記リコメンド依頼に基づいて、上記コミュニケーション情報処理装置が送信した、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を受信するリコメンド情報受信手段と、

## 4

上記リコメンド情報受信手段にて受信した情報を出力する出力手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 17 に記載の情報端末装置。

【請求項 19】 上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手段をさらに備え、

上記第 2 の利用者は、上記関係者格納手段にて第 1 の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする請求項 17 または 18 に記載の情報端末装置。

【請求項 20】 上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、

上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手段と、

上記リコメンド依頼にて上記第 1 の利用者が推薦した上記商品の上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手段と、

をさらに備え、

上記第 2 の利用者は、上記利用者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項 17～19 のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項 21】 上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項 17～20 のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項 22】 上記利用者間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手段をさらに備え、

上記リコメンド手段は、リアルタイムメッセージ手段を用いて、第 2 の利用者に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項 17～21 のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項 23】 上記第 1 の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手段をさらに備え、

上記第 2 の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項 17～22 のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項 24】 上記利用者間で電子メールを送受信する電子メール送受信手段をさらに備え、

上記リコメンド手段は、電子メール手段を用いて、第 2 の利用者に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項 17～23 のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項 25】 上記第 1 の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手段をさらに備え、

10

20

30

40

50

上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項17～24のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項26】 上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライントーク手段をさらに備え、

上記リコメンド手段は、オンライントーク手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項17～25のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項27】 上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手段をさらに備え、

上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項17～26のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項28】 オンライントークを行っているときに、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手段、  
をさらに備えたことを特徴とする請求項17～27のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項29】 上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手段をさらに備え、

上記リコメンド手段は、ホームページ提供手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項17～28のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項30】 上記第1の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手段をさらに備え、

上記第2の利用者は、上記ホームページアクセス者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項17～29のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項31】 リコメンド情報受信手段は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第1の利用者が勧めている上記商品に関する上記商品情報、および、上記第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを、上記コミュニケーション情報処理装置から受信することを特徴とする請求項17～30のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項32】 上記第1の利用者が勧めている上記商品を購入するための商品購入ボタンを含む表示画面情報を上記コミュニケーション情報処理装置から受信する表示画面情報受信手段、

をさらに備え、上記第2の利用者は上記表示画面情報受信手段にて受信した上記商品購入ボタンを入力装置を介

して選択することにより、上記商品を購入することができることを特徴とする請求項17～31のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項33】 上記リコメンド情報受信手段にて受信した情報に基づいて、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトにアクセスするアクセス手段をさらに備えたことを特徴とする請求項17～32のいずれか一つに記載の情報端末装置。

【請求項34】 ネットワークを介して複数の情報端末装置に接続されるもので、これら各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成するコミュニケーション情報処理装置を用いた商品リコメンド方法であって、

オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手順と、

第1の利用者が第2の利用者に対して所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手順と、

上記リコメンド依頼受信手順において受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第2の利用者の情報端末装置に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするリコメンド手順と、  
を備えたことを特徴とする商品リコメンド方法。

【請求項35】 上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手順をさらに備え、

上記第2の利用者は、上記関係者格納手順において第1の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする請求項34に記載の商品リコメンド方法。

【請求項36】 上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、

上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手順と、

上記リコメンド依頼にて上記第1の利用者が推薦した上記商品の上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手順と、  
をさらに備え、

上記第2の利用者は、上記利用者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項34または35に記載の商品リコメンド方法。

【請求項37】 上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項34～36のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項38】 上記利用者間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手順をさらに備え、

上記リコメンド手順は、リアルタイムメッセージ手順を

## 7

用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項34～37のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項39】 上記第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手順をさらに備え、  
上記第2の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項34～38のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項40】 上記利用者間で電子メールを送受信する電子メール送受信手順をさらに備え、  
上記リコメンド手順は、電子メール手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項34～39のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項41】 上記第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手順をさらに備え、  
上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項34～40のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項42】 上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライントーク手順をさらに備え、  
上記リコメンド手順は、オンライントーク手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項34～41のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項43】 上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手順をさらに備え、  
上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項34～42のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項44】 オンライントークを行っているときに、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手順、  
をさらに備えたことを特徴とする請求項34～43のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項45】 上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手順をさらに備え、  
上記リコメンド手順は、ホームページ提供手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商

## 8

品を勧めている旨を通知することを特徴とする請求項34～44のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項46】 上記第1の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手順をさらに備え、  
上記第2の利用者は、上記ホームページアクセス者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする請求項34～45のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

10 【請求項47】 上記リコメンド手順は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第1の利用者が勧めている上記商品に関する上記商品情報、および、上記第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを上記第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にすることを特徴とする請求項34～46のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

【請求項48】 上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに対して、上記第1の利用者が上記第2の利用者の上記情報端末装置に対して上記商品を勧めている旨を、通知可能にすることを特徴とする請求項34～47のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法。

20 【請求項49】 上記請求項34～48のいずれか一つに記載された商品リコメンド方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムに関する、特に、リアルタイムメッセージや、電子メールや、電子掲示板や、チャット等を利用者に対して総合的に提供することができるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、インターネット上のオンラインショッピングサイトが販売する商品について、その商品の購買者等が他人に推薦し、推薦された者がその商品を購入した場合に、その推薦者がオンラインショッピングサイトから一定のキックバック（見返り）を受けることができるサービスが存在する。このようなサービスにおいては、推薦者はできるだけ多くの者にその商品を推薦すればするほど、キックバックを受ける可能性は高くなる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、一般的に、推薦者は、電子メール等を用いて本文に商品の推薦文等を貼り付けて送付することになるため、多数の者に送付するのは非常に手間がかかるというシステム構造上の基本的問題点を有していた。

【0004】また、従来より、リアルタイムメッセージや、電子メールや、電子掲示板や、チャット等を利用者に対して総合的に提供することができるコミュニケーションシステムが、本出願人の特許出願である「特願 2000-381028号」に開示されている。

【0005】このような総合的なコミュニケーションシステムの利用者は、システムが提供する各コミュニケーション手段を駆使すれば、比較的効率良く商品の推薦を多数の者に送信することができるようになる。しかしながら、各コミュニケーション手段を利用者が操作する手間は依然として大きく、また、関係者全員を自分で抽出してメール等を送信する手間は煩雑であるという問題点がある。

【0006】また、口コミの力は大きく、著名人等の個人の発言が商品の流行を左右するような影響力を有し得ることも多い。しかしながら、対面的な口コミには限界があり、個人的な情報波及力には限界がある。

【0007】このように、従来のシステム等はこのような多くの問題点を有しており、その結果、商品を推薦しようとする利用者、および、商品を販売するショッピングモールのいずれにとっても、利便性が悪く、また、広告効率が悪いものであった。

【0008】なお、これまで説明した従来の技術および発明が解決しようとする課題は、インターネット上のオンラインショッピングシステムに限られず、携帯電話等の移動体通信ネットワークにおけるオンラインショッピング等、オンライン上で売買される商品を推薦する全てのシステムにおいて、同様に考えることができる。

【0009】本発明は上記問題点に鑑みてなされたもので、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる、コミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムを提供することを目的としている。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するため、請求項 1 に記載のコミュニケーションシステムは、コミュニケーション情報処理装置にネットワークを介して接続された複数の情報端末装置を用いて、各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うコミュニケーションシステムであって、上記コミュニケーション情報処理装置は、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手段と、第 1 の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手段と、上記リコメンド依頼受信手段により受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にする

るリコメンド手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】このシステムによれば、オンラインショッピングサイトが販売する商品（ここで、「商品」には、例えば金融商品のごとく役務に関する商品を含むこととする。）に関する商品情報を格納し、第 1 の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信し、受信したリコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者に対して、第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするので、サーバ装置は登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になる。また、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる。また、オンラインショッピングは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができる。

【0012】また、本発明はコミュニケーション情報処理装置に関するものであり、請求項 2 に記載のコミュニケーション情報処理装置は、ネットワークを介して複数の情報端末装置に接続されるもので、これら各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成するコミュニケーション情報処理装置であって、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手段と、第 1 の利用者が第 2 の利用者に対して所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手段と、上記リコメンド依頼受信手段により受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者の情報端末装置に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするリコメンド手段とを備えたことを特徴とする。

【0013】この装置によれば、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納し、第 1 の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信し、受信したリコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者に対して、第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするので、サーバ装置は登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になる。また、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる。また、オンラインショッピングは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができる。

【0014】また、請求項3に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2に記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記関係者格納手段にて第1の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする。

【0015】これは第2の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納し、第2の利用者は、第1の利用者の関係者として登録された利用者であるので、例えば、利用者にコミュニケーションシステムが提供するお友達リスト等が存在する場合には、お友達リストに載った利用者に対してリコメ

ンドすることができるようになる。

【0016】また、請求項4に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2または3に記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手段と、上記リコメンド依頼にて上記第1の利用者が推薦した上記商品の上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手段とをさらに備え、上記第2の利用者は、上記利用者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0017】これは第2の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、商品情報は、商品の属性に関する商品属性情報を含み、利用者の属性に関する利用者属性情報を格納し、リコメンド依頼にて第1の利用者が推薦した商品の商品属性情報に関連する利用者属性情報を持つ利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、例えば、商品に興味を持っている利用者を抽出し、その利用者に対してリコメンドすることができるので、利用者に対して有益な情報を送信することができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0018】また、請求項5に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～4のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであることを特徴とする。

【0019】これは利用者属性情報の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者属性情報は、利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであるので、これらの属性に関連する商品属

性を有する商品を効率的にリコメンドすることが可能になる。

【0020】また、請求項6に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～5のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、リアルタイムメッセージ手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0021】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信し、リコメンドは、リアルタイムメッセージを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0022】また、請求項7に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～6のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0023】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、該抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0024】また、請求項8に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～7のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者の間で電子メールを送受信する電子メール送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、電子メール手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0025】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者の間で電子メールを送受信し、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧め

10

20

30

40

50

ている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの電子メールを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0026】また、請求項9に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～8のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0027】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの電子メールを以前に送受信したことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0028】また、請求項10に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～9のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライントーク手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、オンライントーク手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0029】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供し、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのオンライントークを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0030】また、請求項11に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～10のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0031】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出し、第2の利用者

は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのオンライントークを以前に送受信したことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0032】また、請求項12に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～11のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、オンライントークを行っているときに、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手段をさらに備えたことを特徴とする。

【0033】この装置によれば、オンライントークを行っているときに、商品情報に関する書き込みがあった場合に、商品情報に関する書き込みに対して商品を販売するオンラインショッピングに関する情報を付加するので、コミュニケーションシステムのオンライントークで商品情報を書き込むと、そのオンラインショッピングサイトのURL等のリンクが自動的に設定される等、関連情報を自動的に付与することができる。また、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0034】また、請求項13に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～12のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、ホームページ提供手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0035】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して、利用者のホームページを提供し、リコメンドは、ホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、利用者のホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0036】また、請求項14に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～13のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記第1の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記ホームページアクセス者



抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0037】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者のホームページにアクセスした利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを以前にアクセスしたことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0038】また、請求項15に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～14のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記リコメンド手段は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第1の利用者が勧めている上記商品に関する上記商品情報、および、上記第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを上記第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にすることを特徴とする。

【0039】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに関する情報、第1の利用者が勧めている商品に関する商品情報、および、第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にするので、推薦される側に必要な情報を送ることができ、効率的に商品をリコメンドすることができる。

【0040】また、請求項16に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項2～15のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに対して、上記第1の利用者が上記第2の利用者の上記情報端末装置に対して上記商品を勧めている旨を、通知可能にすることを特徴とする。

【0041】この装置によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに対して、第1の利用者が第2の利用者の情報端末装置に対して商品を勧めている旨を、通知可能にするので、オンラインショッピング側は、自己の商品がリコメンドされている旨を即座に把握することが可能になる。

【0042】また、本発明は情報端末装置に関するものであり、請求項17に記載の情報端末装置は、ネットワークを介してコミュニケーション情報処理装置に接続されるもので、各情報端末装置の利用者が上記コミュニケーション情報処理装置の制御により相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成する情報端末装置であって、オンラインショッピングサイトが販売する商品について第1の利用者が第2の利用者に対して推薦するためのリコメンド依頼を、上記コミ

ュニケーション情報処理装置に対して送信するリコメンド依頼送信手段を備えたことを特徴とする。

【0043】この装置によれば、オンラインショッピングサイトが販売する商品について第1の利用者が第2の利用者に対して推薦するためのリコメンド依頼を、コミュニケーション情報処理装置に対して送信するので、登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になる。また、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる。また、オンラインショッピングは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができる。

【0044】また、請求項18に記載の情報端末装置は、請求項17に記載の情報端末装置において、上記リコメンド依頼送信手段により送信された上記リコメンド依頼に基づいて、上記コミュニケーション情報処理装置が送信した、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を受信するリコメンド情報受信手段と、上記リコメンド情報受信手段にて受信した情報を出力する出力手段とを備えたことを特徴とする。

【0045】この装置によれば、送信されたリコメンド依頼に基づいて、コミュニケーション情報処理装置が送信した、第1の利用者が上記商品を勧めている旨を受信し、受信した情報を出力するので、登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になる。また、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる。また、オンラインショッピングは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができる。

【0046】また、請求項19に記載の情報端末装置は、請求項17または18に記載の情報端末装置において、上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記関係者格納手段にて第1の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする。

【0047】これは第2の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納し、第2の利用者は、第1の利用者の関係者として登録された利用者であるので、例えば、利用者にコミュニケ

ーションシステムが提供するお友達リスト等が存在する場合には、お友達リストに載った利用者に対してリコメンドすることができるようになる。

【0048】また、請求項20に記載の情報端末装置は、請求項17～19のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手段と、上記リコメンド依頼にて上記第1の利用者が推薦した上記商品の  
10 上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手段とをさらに備え、上記第2の利用者は、上記利用者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0049】これは第2の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、商品情報は、商品の属性に関する商品属性情報を含み、利用者の属性に関する利用者属性情報を格納し、リコメンド依頼にて第1の利用者が推薦した商品の商品属性情報に関連する利用者属性情報を持つ利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、例えば、商品に興味を持つ  
20 ている利用者を抽出し、その利用者に対してリコメンドすることができるので、利用者に対して有益な情報を送信することができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0050】また、請求項21に記載の情報端末装置は、請求項17～20のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つで  
30 あることを特徴とする。

【0051】これは利用者属性情報の一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者属性情報は、利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであるので、これらの属性に関連する商品属性を有する商品を効率的にリコメンドすることが可能になる。

【0052】また、請求項22に記載の情報端末装置は、請求項17～21のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、リアルタイム  
40 メッセージ手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0053】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信し、リコメンドは、リ

アルタイムメッセージを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0054】また、請求項23に記載の情報端末装置は、請求項17～22のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0055】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、該抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを以前に  
20 送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0056】また、請求項24に記載の情報端末装置は、請求項17～23のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記利用者の間で電子メールを送受信する電子メール送受信手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、電子メール手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知  
30 することを特徴とする。

【0057】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者の間で電子メールを送受信し、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの電子メールを用いて他の利用者に対してリコメンド  
40 することができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0058】また、請求項25に記載の情報端末装置は、請求項17～24のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0059】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者と電子

メールを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの電子メールを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0060】また、請求項26に記載の情報端末装置は、請求項17～25のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライン

10 トーク手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、オンライントーク手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0061】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供し、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのオンライントークを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0062】また、請求項27に記載の情報端末装置は、請求項17～26のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0063】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのオンライントークを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0064】また、請求項28に記載の情報端末装置は、請求項17～27のいずれか一つに記載の情報端末装置において、オンライントークを行っているときに、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手段をさらに備えたことを特徴とする。

【0065】この装置によれば、オンライントークを行っているときに、商品情報に関する書き込みがあった場合に、商品情報に関する書き込みに対して商品を販売するオンラインショッピングに関する情報を付加するので、コミュニケーションシステムのオンライントークで商品情報を書き込むと、そのオンラインショッピングサイトのURL等のリンクが自動的に設定される等、関連情報を自動的に付与することができる。また、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0066】また、請求項29に記載の情報端末装置は、請求項17～28のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手段をさらに備え、上記リコメンド手段は、ホームページ提供手段を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0067】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者に対して、利用者のホームページを提供し、リコメンドは、ホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、利用者のホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

30 【0068】また、請求項30に記載の情報端末装置は、請求項17～29のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記第1の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手段をさらに備え、上記第2の利用者は、上記ホームページアクセス者抽出手段にて抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0069】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、第1の利用者のホームページにアクセスした利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを以前にアクセスしたことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

40 【0070】また、請求項31に記載の情報端末装置は、請求項17～30のいずれか一つに記載の情報端末装置において、リコメンド情報受信手段は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第1の利用者が勧めている上記商品に関する上

記商品情報、および、上記第 1 の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを、上記コミュニケーション情報処理装置から受信することを特徴とする。

【0071】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この装置によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに関する情報、第 1 の利用者が勧めている商品に関する商品情報、および、第 1 の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを第 2 の利用者の情報端末装置に対して通知可能にするので、推薦される側に必要な情報を送ることができ、効率的に商品をリコメンドすることができる。

【0072】また、請求項 32 に記載の情報端末装置は、請求項 17～31 のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記第 1 の利用者が勧めている上記商品を購入するための商品購入ボタンを含む表示画面情報を上記コミュニケーション情報処理装置から受信する表示画面情報受信手段をさらに備え、上記第 2 の利用者は上記表示画面情報受信手段にて受信した上記商品購入ボタンを入力装置を介して選択することにより、上記商品を購入することができることを特徴とする。

【0073】この装置によれば、第 1 の利用者が勧めている商品を購入するための商品購入ボタンを含む表示画面情報をコミュニケーション情報処理装置から受信するので、第 2 の利用者は商品購入ボタンを入力装置を介して選択することにより、ワンクリックにて所望の商品を購入することができるようになる。

【0074】また、請求項 33 に記載の情報端末装置は、請求項 17～32 のいずれか一つに記載の情報端末装置において、上記リコメンド情報受信手段にて受信した情報に基づいて、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトにアクセスするアクセス手段をさらに備えたことを特徴とする。

【0075】この装置によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに対して、受信した情報に基づいてアクセスするので、オンラインショッピングに即座にアクセスして、商品を購入することができる。

【0076】また、本発明は商品リコメンド方法に関するものであり、請求項 34 に記載の商品リコメンド方法は、ネットワークを介して複数の情報端末装置に接続されるもので、これら各情報端末装置の利用者が相互にコミュニケーションを行うためのコミュニケーションシステムを構成するコミュニケーション情報処理装置であって、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納する商品情報格納手順と、第 1 の利用者が第 2 の利用者に対して所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信するリコメンド依頼受信手順と、上記リコメンド依頼受信手順により受信した上記リコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者の情報端末装置に対して、上記第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするリコメンド手順とを備えたことを特

徴とする。

【0077】この方法によれば、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納し、第 1 の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信し、受信したリコメンド依頼に基づいて、第 2 の利用者に対して、第 1 の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするので、サーバ装置は登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になる。また、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができる。また、オンラインショッピングは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができる。

【0078】また、請求項 35 に記載の商品リコメンド方法は、請求項 34 に記載の商品リコメンド方法において、上記利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納する関係者格納手順をさらに備え、上記第 2 の利用者は、上記関係者格納手順において第 1 の利用者の関係者として登録された利用者であることを特徴とする。

【0079】これは第 2 の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納し、第 2 の利用者は、第 1 の利用者の関係者として登録された利用者であるので、例えば、利用者にコミュニケーションシステムが提供するお友達リスト等が存在する場合には、お友達リストに載った利用者に対してリコメンドすることができるようになる。

【0080】また、請求項 36 に記載の商品リコメンド方法は、請求項 34 または 35 に記載の商品リコメンド方法において、上記商品情報は、上記商品の属性に関する商品属性情報を含み、上記利用者の属性に関する利用者属性情報を格納する利用者属性格納手順と、上記リコメンド依頼にて上記第 1 の利用者が推薦した上記商品の上記商品属性情報に関連する上記利用者属性情報を持つ上記利用者を抽出する利用者抽出手順とをさらに備え、上記第 2 の利用者は、上記利用者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0081】これは第 2 の利用者の一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、商品情報は、商品の属性に関する商品属性情報を含み、利用者の属性に関する利用者属性情報を格納し、リコメンド依頼にて第 1 の利用者が推薦した商品の商品属性情報に関連する利用者属性情報を持つ利用者を抽出し、第 2 の利用者は、抽出された利用者であるので、例えば、商品に興味を持っている利用者を抽出し、その利用者に対してリコメンド

することができるので、利用者に対して有益な情報を送信することができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0082】また、請求項37に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～36のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記利用者属性情報は、上記利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであることを特徴とする。

【0083】これは利用者属性情報の一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者属性情報は、利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域、興味のあるジャンル、興味のある商品、趣味、および、干支のうち少なくとも一つであるので、これらの属性に関連する商品属性を有する商品を効率的にリコメンドすることが可能になる。

【0084】また、請求項38に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～37のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信するリアルタイムメッセージ送受信手順をさらに備え、上記リコメンド手順は、リアルタイムメッセージ手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0085】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信し、リコメンドは、リアルタイムメッセージを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0086】また、請求項39に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～38のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出するリアルタイムメッセージ送受信者抽出手順をさらに備え、上記第2の利用者は、上記リアルタイムメッセージ送受信者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0087】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、該抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメ

ドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0088】また、請求項40に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～39のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記利用者の間で電子メールを送受信する電子メール送受信手順をさらに備え、上記リコメンド手順は、電子メール手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0089】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者の間で電子メールを送受信し、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの電子メールを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0090】また、請求項41に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～40のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出する電子メール送受信者抽出手順をさらに備え、上記第2の利用者は、上記電子メール送受信者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0091】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの電子メールを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0092】また、請求項42に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～41のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供するオンライントーク手順をさらに備え、上記リコメンド手順は、オンライントーク手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0093】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供し、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、オンライントークを用い

10

20

30

40

50

て、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのオンライントークを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0094】また、請求項43に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～42のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出するオンライントーク者抽出手順をさらに備え、上記第2の利用者は、上記オンライントーク者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0095】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのオンライントークを以前に送受信したことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0096】また、請求項44に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～43のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、オンライントークを行っているときに、上記商品情報に関する書き込みがあった場合に、上記商品情報に関する書き込みに対して上記商品を販売する上記オンラインショッピングに関する情報を付加するオンライントーク付加手順をさらに備えたことを特徴とする。

【0097】この方法によれば、オンライントークを行っているときに、商品情報に関する書き込みがあった場合に、商品情報に関する書き込みに対して商品を販売するオンラインショッピングに関する情報を付加するので、コミュニケーションシステムのオンライントークで商品情報を書き込むと、そのオンラインショッピングサイトのURL等のリンクが自動的に設定される等、関連情報を自動的に付与することができる。また、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0098】また、請求項45に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～44のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記利用者に対して、上記利用者のホームページを提供するホームページ提供手順をさらに備え、上記リコメンド手順は、ホームページ提供手順を用いて、第2の利用者に対して、上記第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知することを特徴とする。

【0099】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者に対して、利

用者のホームページを提供し、リコメンドは、ホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、利用者のホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0100】また、請求項46に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～45のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記第1の利用者の上記ホームページにアクセスした利用者を抽出するホームページアクセス者抽出手順をさらに備え、上記第2の利用者は、上記ホームページアクセス者抽出手順において抽出された上記利用者であることを特徴とする。

【0101】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、第1の利用者のホームページにアクセスした利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを以前にアクセスしたことのある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0102】また、請求項47に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～46のいずれか一つに記載商品リコメンド方法において、上記リコメンド手順は、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに関する情報、上記第1の利用者が勧めている上記商品に関する上記商品情報、および、上記第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを上記第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にすることを特徴とする。

【0103】これはリコメンドの一例を一層具体的に示すものである。この方法によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに関する情報、第1の利用者が勧めている商品に関する商品情報、および、第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にするので、推薦される側に必要な情報を送ることができ、効率的に商品をリコメンドすることができる。

【0104】また、請求項48に記載の商品リコメンド方法は、請求項34～47のいずれか一つに記載の商品リコメンド方法において、上記商品を販売する上記オンラインショッピングサイトに対して、上記第1の利用者が上記第2の利用者の上記情報端末装置に対して上記商品を勧めている旨を、通知可能にすることを特徴とする。

【0105】この方法によれば、商品を販売するオンラ

10

20

30

40

50

インショッピングサイトに対して、第1の利用者が第2の利用者の情報端末装置に対して商品を勧めている旨を、通知可能にするので、オンラインショッピング側は、自己の商品がリコメンドされている旨を即座に把握することが可能になる。

【0106】また、本発明はプログラムに関するものであり、請求項49に記載のプログラムは、上記請求項34～48のいずれか一つに記載された商品リコメンド方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0107】この記録媒体によれば、プログラムをコンピュータに読み取らせて実行することによって、請求項34～48のいずれか一つに記載された商品リコメンド方法をコンピュータを利用して実現することができ、これら各方法と同様の効果を得ることができる。

【0108】

【発明の実施の形態】以下に、本発明にかかるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムの実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。なお、この実施の形態によりこの発明が限定されるものではない。特に、以下の実施の形態においては、本発明を、インターネット上のオンラインショッピングシステムに適用した例について説明するが、この場合に限られず、携帯電話等の移動体通信ネットワークにおけるオンラインショッピング等、オンライン上で売買される商品を推薦する全てのシステムにおいて、同様に適用することができる。

【0109】（本システムの概要）以下、本システムの概要について説明し、その後、本システムの構成および処理等について詳細に説明する。図1は本システムの全体構成の一例を示すブロック図であり、該システム構成のうち本発明に関係する部分のみを概念的に示している。本システムは、概略的に、利用者に対して様々なコミュニケーション手段を創造的に提供するコミュニケーション情報処理装置であるサーバ装置100と、本システムの利用者の情報端末装置であるクライアント装置200とを、ネットワーク300を介して通信可能に接続して構成されている。また、商品をオンラインで販売するオンラインショッピングサイト400がネットワーク300を介して本システムに接続されている。

【0110】このシステムは、概略的に、以下の基本的特徴を有する。すなわち、サーバ装置100からクライアント装置200に対して、または、クライアント装置200からサーバ装置100に対して、コミュニケーションに関する各種の情報がネットワーク300を介して送受信されることにより、種々のコミュニケーションサービスを利用者に対して提供する。また、サーバ装置100は、オンラインショッピングサイト400から販売する商品（ここで、「商品」には、例えば金融商品のご

とく役務に関する商品を含むこととする。）に関する商品情報を受信して格納する。そして、サーバ装置100は、利用者が所望の商品を推薦するためのリコメンド依頼を、オンラインショッピングサイト400またはクライアント装置200からネットワーク300を介して受信し、このリコメンド依頼に基づいて、他の利用者に対して、利用者（推薦者）が商品を勧めている旨を、種々のコミュニケーションサービスを用いて通知する。

【0111】本システムで提供される主たるコミュニケーションサービスとしては、ホームページ公開、チャットやBBS等のオンライントーク、電子メール、および、リアルタイムメッセージ（または、プライベートメッセージ（PBメッセージ）、インスタントメッセージ等と呼ばれる）がある。また、これら各サービスを円滑に行なうための補助的なサービスとして、プロフィール参照、オンラインURLロケートリスト、WWWURLロケートリスト、友達リスト、および、拒否リストを利用することができる。これら各サービスは、それぞれ個別に行うことができる他、複数のサービスを同一画面上において同時的または連携的に利用することが可能である。

【0112】ここで、主たるサービスのうち、「ホームページ公開」とは、本システムの内部または外部のサーバに格納された各利用者のWebページをクライアント装置にて閲覧することのできるサービスである。

【0113】また、「オンライントーク」とは、仮想的な対話室（チャットルーム）において利用者が相互に対話を行うためのチャットや、仮想的な掲示板に利用者が書き込む掲示板（BBS）等を提供するサービスである。特に、本システムにおいては、従来の一般的なチャットとしての機能に加え、他の利用者に対して能動的にチャットルームを開設することができるという特徴を有する。

【0114】また、「リアルタイムメッセージ」とは、利用者が他の利用者に対して個別的にメッセージを送信するものである。特に、従来の電子メールに比べて、リアルタイム性を有すると共に、他の利用者に対して能動的にメッセージを送信することができるという特徴を有する。

【0115】また、補助的なサービスのうち、「プロフィール参照」とは、各クライアント装置の利用者が自己のプロフィールをサーバ装置内に登録しておくことができ、このプロフィールを他の利用者が必要に応じて参照することのできるサービスである。各利用者は、このプロフィール参照を行なうことにより、後述する友達リストまたは拒否リストを作成等する際の参考にすることができる。

【0116】また、「オンラインURLロケートリスト」とは、各利用者に対して、本システムにオンラインしている他の利用者の存在等を知らせるサービスであ

る。

【0117】また、「WWWURLロケートリスト」とは、WWWサービスを利用している各利用者に対して、この利用者と同一のWebページを閲覧している他の利用者の存在等を知らせるサービスである。

【0118】各利用者は、これらオンラインURLロケートリストやWWWURLロケートリストを参照することにより、同一の趣味等を有する他の利用者を探すことが容易になり、また、後述する友達リストまたは拒否リストを作成等する際の参考にすることができる。

【0119】また、「友達リスト」とは、各利用者が他の利用者を自己の友達であるとしてサーバ装置に登録しておくことができるサービスである。この友達リストは、チャットサービスやPBメッセージサービスにおいて送信先等を選択する際に参照することができ、コミュニケーションの輪が広がると共に、選択操作が容易になる。

【0120】また、「拒否リスト」とは、各利用者が他の利用者をコミュニケーションを取りたくない利用者（被拒否者）であるとしてサーバ装置に登録しておくことができるサービスである。この拒否リストに登録された被拒否者からチャットの参加呼びかけやPBメッセージの送信があった場合には、これらコミュニケーション要求を自動的に拒否することができる。

【0121】（システム構成）以下、このような基本的特徴を具現化するための、本システムの構成について説明する。

【0122】（システム構成—サーバ装置100）まず、サーバ装置100の構成について説明する。図4は、本発明が適用されるサーバ装置100の構成の一例を示すブロック図であり、該構成のうち本発明に係る部分のみを概念的に示している。図4においてサーバ装置100は、概略的に、サーバ装置100の全体を統括的に制御するCPU等の制御部102、通信回線等に接続されるルータ等の通信装置（図示せず）に接続される通信制御インタフェース部104、および、各種のデータベース（利用者情報データベース106a～ホームページファイル106f）を格納する記憶部106を備えて構成されており、これら各部は任意の通信路を介して通信可能に接続されている。さらに、このサーバ装置は、ルータ等の通信装置および専用線等の有線または無線の通信回線を介して、ネットワーク300に通信可能に接続されている。

【0123】記憶部106に格納される各種のデータベース（利用者情報データベース106a～ホームページファイル106f）は、固定ディスク装置等のストレージ手段であり、各種処理やウェブサイト提供に用いる各種のプログラムやテーブルやファイルやデータベースやウェブページ用ファイル等を格納する。

【0124】これら記憶部106の各構成要素のうち、

利用者情報データベース106aは、利用者に関する情報等を格納する利用者情報格納手段である。この利用者情報データベース106aに格納される情報は、利用者を一意に識別するための利用者識別子、利用者を管理するための利用者管理情報等を相互に関連付けて構成されている。

【0125】ここで、「利用者管理情報」とは、例えば、ユーザID、パスワード、コミュニケーションID（コミュニID）、本システム上における各利用者のニックネーム（ハンドル名）、利用者の性別、職業、星座、年齢、血液型、生年月日、趣味、特技、住所、居住する地域（例えば、国名、都道府県名等）、興味のあるジャンル（例えば、買い物、音楽、証券・金融、ニュース、コンピュータ等）、興味のある商品、趣味、自己のホームページのURLまたはホームページ名、および、干支等のプロフィールに関する情報、友達情報、拒否情報、利用禁止者リスト、利用者のゲームの履歴に関するゲーム履歴情報（例えば、ゲーム名、ステージ数、対戦成績、スコア、時間等）、好きなゲームのジャンルに関する情報（例えば、スポーツゲーム、シミュレーションゲーム、格闘技ゲーム、レースゲーム等）、好きなゲームのキャラクタに関する情報等が含まれる。特に、これらは、テキストデータに限られず、画像や音声等のバイナリデータを格納することができる。また、各利用者が本システムに入会した後の任意のタイミングにて登録することができ、また、必要に応じて編集することができる。

【0126】このうち、「ユーザID」は、各利用者がISP (Internet Service Provider) との間において、自己のクライアント装置200をインターネットに接続するための回線利用契約を行った際に、このISPから利用者に対して、当該利用者を一意に識別するために付与される識別情報（第1識別情報）である。またこの時、各利用者は、当該利用者およびISPのみが知り得る任意のパスワードを登録する。なお、ISPとしては、本システムに対して所定情報を提供するための提携関係にあるISP（提携ISP）が利用される。

【0127】また、「コミュニケーションID」は、各利用者が本システムに入会する際、サーバ装置100から利用者に対して、当該利用者をシステム内において一意に識別するために付与される識別情報（第2識別情報）である。

【0128】また、「友達情報」とは、各利用者によって友達として登録された他の利用者を一意に特定するための情報である。また、拒否情報とは、各利用者によって被拒否者として登録された他の利用者を一意に特定するための情報である。具体的には、これら友達情報および拒否情報は、上述のユーザIDを用いて構成される。

【0129】そして、「利用禁止者リスト」とは、本システム内において法律上や倫理上において好ましくない



行動を取った利用者がいた場合、あるいは、その他の任意の理由によって本システムの利用を禁止すべき利用者がいた場合に、この利用者（利用禁止者）が本システムを利用することを禁止するため、当該利用禁止者を一意に特定するためのリストである。この利用禁止者リストは、利用禁止者のユーザIDを用いて構成されるものであり、本システムの管理者によって任意のタイミングで格納される。

【0130】また、商品情報データベース106bは、オンラインショッピングサイト400により販売される商品に関する情報等を格納する商品情報格納手段である。この商品情報データベース106bに格納される情報は、商品を一意に識別するための商品情報、商品の属性に関する商品属性情報（例えば、関連する嗜好者、生産地域、販売地域、品質、量、値段等）、および、商品を販売するオンラインショッピングサイト400に関する情報（例えば、URL等のアドレス、電子商店名称、提供事業者等）等を相互に関連付けて構成されている。

【0131】また、リアルタイムメッセージファイル106cは、リアルタイムメッセージに関する情報等を格納するリアルタイムメッセージ情報格納手段である。このリアルタイムメッセージファイル106cに格納される情報は、リアルタイムメッセージを一意に識別するためのリアルタイムメッセージ識別子、発信者識別子、着信者識別子、および、メッセージデータ等を相互に関連付けて構成されている。

【0132】また、電子メールファイル106dは、電子メールに関する情報等を格納する電子メール情報格納手段である。この電子メールファイル106dに格納される情報は電子メールを一意に識別するための電子メール識別子、発信者識別子、着信者識別子、および、電子メールデータ等を相互に関連付けて構成されている。

【0133】また、BBSファイル106eは、オンライントーク（BBS等）に関する情報等を格納するオンライントーク情報格納手段である。このBBSファイル106eに格納される情報はオンライントークを一意に識別するためオンライントーク識別子、BBSの管理者の識別子、書き込み者の識別子、および、オンライントークの書き込みデータ等を相互に関連付けて構成されている。

【0134】また、ホームページファイル106fは、利用者のホームページに関する情報等を格納するホームページ情報格納手段である。このホームページファイル106fに格納される情報は利用者のホームページを一意に識別するためのホームページ識別子、ホームページの管理者の識別子、および、ホームページのウェブデータ等を相互に関連付けて構成されている。

【0135】また、その他の情報として、サーバ装置100の記憶部106には、ウェブサイトをクライアント装置200に提供するための各種のWebデータやCG

Iプログラム等が記録されている。

【0136】また、図4において、通信制御インタフェース部104は、サーバ装置100とネットワーク300（またはルータ等の通信装置）との間における通信制御を行う。すなわち、通信制御インタフェース部104は、他の端末と通信回線を介してデータを通信する機能を有する。

【0137】また、図4において、制御部102は、OS（Operating System）等の制御プログラム、各種の処理手順等を規定したプログラム、および所要データを格納するための内部メモリを有し、これらのプログラム等により、種々の処理を実行するための情報処理を行う。制御部102は、機能概念的に、商品情報処理部102a、商品リコメンド処理部102b、リアルタイムメッセージ処理部102c、電子メール処理部102d、BBS処理部102e、および、ホームページ処理部102fを備えて構成されている。

【0138】このうち、商品情報処理部102aは、オンラインショッピングサイト400から受信した商品情報を処理する商品情報処理手段である。また、商品リコメンド処理部102bは、利用者が推薦する商品について他の利用者にリコメンドする商品リコメンド処理手段である。また、リアルタイムメッセージ処理部102cは、リアルタイムメッセージサービスを提供するリアルタイムメッセージ処理手段である。また、電子メール処理部102dは、電子メールサービスを提供する電子メール処理手段である。また、BBS処理部102eは、電子掲示板やチャット等のオンライントークを提供するオンライントーク（BBS）サービスを提供するBBS処理手段である。また、ホームページ処理部102fは、利用者のホームページを提供するホームページ処理手段である。なお、これら各部によって行なわれる処理の詳細については、後述する。

【0139】（システム構成—クライアント装置200）次に、クライアント装置200の構成について説明する。クライアント装置200は、概略的には、制御部、ROM、RAM、HD、入力装置、出力装置、入出力制御IF、および、通信制御IFを備えて構成されており、これら各部がバスを介してデータ通信可能に接続されている。

【0140】このクライアント装置の制御部は、Webブラウザおよび電子メーラを備えて構成されている。このうち、Webブラウザは、基本的には、Webデータを解釈して、後述するモニタに表示させる表示制御（ブラウズ処理）を行うものである。また、電子メーラは、所定の通信規約（例えば、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol））に従って、電子メールの送受信を行う。

【0141】また、入力装置としては、キーボード、マウス、および、マイク等を用いることができる。また、

後述するモニタも、マウスと協働してポインティングデバイス機能を実現する。

【0142】また、出力装置としては、モニタ（家庭用テレビを含む）の他、スピーカを用いることができる（なお、以下においては出力装置をモニタとして記載する）。

【0143】また、通信制御IFは、クライアント装置200とインターネット（またはルータ等の通信装置）との間における通信制御を行う。この通信制御IFは、ネットワーク300との通信手段である。

【0144】このように構成されたクライアント装置200は、モデム、TA、ルータ等の通信装置と電話回線を介して、あるいは、専用線を介して、インターネットに接続されており、所定の通信規約（例えば、TCP/IPインターネットプロトコル）に従ってサーバ装置100にアクセスすることができる。

【0145】（システム構成—ネットワーク300）次に、ネットワーク300の構成について説明する。ネットワーク300は、サーバ装置100とクライアント装置200とを相互に接続する機能を有し、例えば、インターネット等である。

【0146】（システム構成—オンラインショッピングサイト400）次に、オンラインショッピングサイト400の構成について説明する。オンラインショッピングサイト400は、ネットワーク300を介して、サーバ装置100とクライアント装置200と相互に接続され、利用者に対して商品のオンラインショッピングを提供する機能を有する。ここで、オンラインショッピングサイト400は、WEBサーバやASPサーバ等として構成してもよく、そのハードウェア構成は、一般に市販されるワークステーション、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置およびその付属装置により構成してもよい。また、以下に説明するオンラインショッピングサイト400の各機能は、そのハードウェア構成中の、CPU、ディスク装置、メモリ装置、入力装置、出力装置、通信制御装置等およびそれらを制御するプログラム等により実現される。

【0147】（システムの処理）次に、このように構成された本実施の形態における本システムの処理の一例について、以下に図2、3、および、5～10を参照して詳細に説明する。

【0148】（第1実施形態のサービスイメージ）まず、このように構成された本システムを用いて行なわれる本方法としての第1実施形態のサービスイメージの詳細について図2を参照して説明する。図2は、第1実施形態における本システムのサービスイメージの一例を示す概要図である。

【0149】オンラインショッピングサイト400は、サーバ装置100に対して、自己が販売する商品情報を送信する（ステップSA-1）。また、オンラインショ

ッピングサイト400は、商品Aをオンラインショッピングにより販売するためのホームページを公開する（ステップSA-2）。

【0150】ここで、サーバ装置100に送信される「商品情報」には、商品の属性に関する商品属性情報（例えば、関連する嗜好者、生産地域、販売地域、品質、量、値段等）、および、商品を販売するオンラインショッピングサイト400に関する情報（例えば、URL等のアドレス、電子商店名称、提供事業者等）等が含まれる。なお、商品情報等の送信方法については、FTP等の従来の技術を用いて実現することができるため詳細な説明は省略する。

【0151】ついで、サーバ装置100は、商品情報処理部102aの処理により、受信した商品情報に商品情報識別子を付加して、商品情報データベース106bに登録する。そして、サーバ装置100の商品情報処理部102aは、サーバ装置100が提供する各種のコミュニケーションサービスにおいて、登録された商品情報を例えばバナー広告として表示することにより、利用者に広告する。

【0152】ついで、利用者Aのクライアント装置200は、サーバ装置100の提供するウェブサイトのアドレス（URL等）を利用者がブラウザソフトウェア等の画面上で入力装置等を介して指定することにより、インターネットを介して、サーバ装置100に接続する。なお、ウェブサイト等への接続方法や閲覧方法等については、従来の技術を用いて実現することができるため詳細な説明は省略する。

【0153】ついで、利用者Aは、サーバ装置100のウェブサイト上で、商品Aに関するバナー広告をクリックすると、利用者Aのクライアント装置200は自動的にオンラインショッピングサイト400に接続されて、オンラインショッピングサイト400が公開する商品A販売用ウェブページがブラウザソフトウェアの機能によりクライアント装置200のモニタに表示される。

【0154】ここで、図7は、クライアント装置200のモニタに表示される商品A販売用ウェブページの表示画面の一例を示す図である。この図に示すように商品A販売用ウェブページの表示画面は、例えば、商品Aの説明を表示する領域MA-1、商品Aの購入を選択する購入選択ボタンMA-2、および、商品Aを友人に勧めることを選択する友人推薦選択ボタンMA-3を含んで構成されている。

【0155】再び、図2に戻り、利用者Aがマウスでクリック等することにより友人推薦選択ボタンMA-3を選択すると（ステップSA-3）、クライアント装置200の記憶部に格納された利用者Aの利用者識別子がオンラインショッピングサイト400に対して送信される。

【0156】ついで、オンラインショッピングサイト4

10

20

30

40

50

00は、利用者Aの利用者識別子を受信すると、利用者Aが商品Aを勧めたい旨を通知するための商品リコメンド処理依頼を、サーバ装置100に対して送信する(ステップSA-4)。

【0157】 100について、サーバ装置100は、商品リコメンド処理依頼を受信すると、商品リコメンド処理部102bの処理により、利用者情報データベース106aおよび商品情報データベース106b等を参照して、他の利用者に対して商品Aをリコメンドする商品リコメンド処理を実行する(ステップSA-5)。

【0158】 ここで、本システムの商品リコメンド処理の詳細について図5および6を参照して説明する。図5および6は、本実施形態における本システムの商品リコメンド処理の一例を示すフローチャートである。

【0159】 まず、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、利用者情報データベース106aを参照して、利用者Aのお友達リストを参照し、お友達リストに登録された利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-1)。

【0160】 200について、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、リアルタイムメッセージファイル106cを参照して、以前、利用者Aに対してリアルタイムメッセージを送受信した利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-2)。

【0161】 100について、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、電子メールファイル106dを参照して、以前、利用者Aに対して電子メールを送受信した利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-3)。

【0162】 100について、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、BBSファイル106eを参照して、以前、利用者AのBBS等へ書き込みをした利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-4)。

【0163】 100について、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、ホームページファイル106fを参照して、以前、利用者Aのホームページにアクセスをした利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-5)。

【0164】 100について、サーバ装置100の商品リコメンド処理部102bは、商品情報データベース106bを参照して、商品Aの商品属性を抽出する。そして、商品リコメンド処理部102bは、利用者情報データベース106aを参照して、利用者Aの属性情報を参照し、商品Aの商品属性に合致する利用者の電子メールアドレスおよびハンドル名を取得する(ステップSC-6)。

【0165】 100について、電子メール処理部102dは、ステップSC-1～ステップSC-6において、抽出した電子メールアドレスを宛先に用いて、商品Aをリコメンドする電子メールを送信する(ステップSC-7)。こ

こで、電子メール処理部102dは、抽出した全ての電子メールアドレスに対して電子メールを送信してもよく、また、利用者、サーバ装置100、または、オンラインショッピングサイト400が選択した一部の利用者の電子メールアドレスに対してのみ電子メールを送信しても良い。

【0166】 また、電子メール処理部102dは、ステップSC-1～ステップSC-6において、抽出したハンドル名を宛先に用いて、商品Aをリコメンドするリアルタイムメッセージを送信する(ステップSC-7)。ここで、電子メール処理部102dは、抽出した全てのハンドル名に対してリアルタイムメッセージを送信してもよく、また、利用者、サーバ装置100、または、オンラインショッピングサイト400が選択した一部の利用者のハンドル名に対してのみリアルタイムメッセージを送信しても良い。

【0167】 ここで、図8は、電子メール処理部102dにより送信される商品リコメンド用の電子メールまたはリアルタイムメッセージの表示画面の一例を示す図である。この図に示すように商品リコメンド用の電子メールまたはリアルタイムメッセージの表示画面は、例えば、送信者を示す領域MB-1、受信者を示す領域MB-2、サブジェクトを示す領域MB-3、および、電子メールまたはリアルタイムメッセージの本文を示す領域MB-4を含んで構成されている。ここで、電子メールまたはリアルタイムメッセージの本文を示す領域MB-4には、商品Aに関する商品情報の少なくとも一部を載せてもよい。

【0168】 100について、商品リコメンド処理部102bは、BBS処理部102eを参照して、利用者AのBBS表示用ウェブページを取得し、そのウェブページに「お勧め商品」の情報を追加する(ステップSC-8)。商品リコメンド処理部102bは、「お勧め商品」の部分に、商品Aの商品情報に関するウェブページに対するリンク情報を設定する。これにより、BBS処理部102eの処理により、利用者AのBBS表示用ウェブページが、利用者のクライアント装置200に送信され、クライアント装置200のモニタに利用者AのBBS表示用ウェブページが出力される。

【0169】 ここで、図9は、クライアント装置200のモニタに表示される、利用者AのBBS表示用ウェブページの表示画面の一例を示す図である。この図に示すように、利用者AのBBS表示用ウェブページの表示画面は、例えば、BBSを提供する利用者を示す領域MC-1、コメントを示す領域MC-2、お勧め商品を示す領域MC-3、および、BBSの書き込みの本文を示す領域MC-4を含んで構成されている。

【0170】 ここで、BBSの書き込みの本文を示す領域MC-4には、商品Aに関する商品情報の少なくとも一部が掲載される場合には、BBS処理部102eの処

理により、その部分に商品Aの商品情報に関するウェブページにリンクを設定してもよい。すなわち、BBS処理部102eは、商品情報データベース106bを参照して、利用者が書き込んだ内容の中に商品情報が含まれているかチェックし、含まれている場合には、その商品情報を提供するオンラインショッピングサイト400のアドレス情報等に基づいて、その内容にリンク情報を設定する。

【0171】について、商品リコメンド処理部102bは、ホームページ処理部102fを参照して、利用者Aのホームページ表示用ウェブページを取得し、そのウェブページに「お勧め商品」の情報を追加する（ステップSC-8）。商品リコメンド処理部102bは、「お勧め商品」の部分に、商品Aの商品情報に関するウェブページに対するリンク情報を設定する。これにより、ホームページ処理部102fの処理により、利用者Aのホームページ表示用ウェブページが、利用者のクライアント装置200に送信され、クライアント装置200のモニタに利用者Aのホームページ表示用ウェブページが出力される。

【0172】ここで、図10は、クライアント装置200のモニタに表示される、利用者Aのホームページ表示用ウェブページの表示画面の一例を示す図である。この図に示すように、利用者Aのホームページ表示用ウェブページの表示画面は、例えば、ホームページを提供する利用者に関する情報を示す領域MD-1、および、お勧め商品を示す領域MD-2を含んで構成されている。これにて、商品リコメンド処理が終了する。

【0173】再び、図2に戻り、ステップSA-5により、各利用者のクライアント装置200に対して、商品Aがリコメンドされると、各利用者のうち商品Aに興味を有する者は、そのリコメンド情報に基づいて、オンラインショッピングサイト400にアクセスする（ステップSA-6）。

【0174】について、オンラインショッピングサイト400は、リコメンドされた利用者Bが商品Aを購入した場合には、推薦した利用者A、および、サーバ装置100に対して、キックバックを行う（ステップSA-7）。

【0175】（第2実施形態のサービスイメージ）つぎに、このように構成された本システムを用いて行なわれる本方法としての第2実施形態のサービスイメージの詳細について図3を参照して説明する。図3は、第2実施形態における本システムのサービスイメージの一例を示す概要図である。ここで、上述した第1実施形態にて説明した部分は、説明を省略する。

【0176】オンラインショッピングサイト400は、サーバ装置100に対して、自己が販売する商品情報を送信する（ステップSB-1）。

【0177】について、サーバ装置100は、商品情報処

理部102aの処理により、受信した商品情報に商品情報識別子を付加して、商品情報データベース106bに登録する。そして、サーバ装置100の商品情報処理部102aは、サーバ装置100が提供する各種のコミュニケーションサービスにおいて、登録された商品情報を例えばバナー広告として表示することにより、利用者に広告する。

【0178】について、利用者Aのクライアント装置200は、サーバ装置100の提供するウェブサイトのアドレス（URL等）を利用者がブラウザソフトウェア等の画面上で入力装置等を介して指定することにより、インターネットを介して、サーバ装置100に接続する。なお、ウェブサイト等への接続方法や閲覧方法等については、従来の技術を用いて実現することができるため詳細な説明は省略する。

【0179】について、利用者Aは、サーバ装置100のウェブサイト上で、商品Aに関するバナー広告をクリックすると、利用者Aのクライアント装置200は自動的にオンラインショッピングサイト400に接続されて、オンラインショッピングサイト400が公開する商品A販売用ウェブページがブラウザソフトウェアの機能によりクライアント装置200のモニタに表示される。

【0180】ここで、利用者Aが商品Aについて、他の利用者に推薦するときには、クライアント装置200は、商品Aに対するアイテムリンク情報を作成する（ステップSB-2）。ここで、アイテムリンク情報には、商品識別子、および、利用者識別子を含み、さらに、推薦文等を追加してもよい。

【0181】について、クライアント装置200は、利用者Aのアイテムリンク情報を添付した商品リコメンド処理依頼を、サーバ装置100に対して送信する（ステップSB-3）。

【0182】について、サーバ装置100は、商品リコメンド処理依頼を受信すると、商品リコメンド処理部102bの処理により、利用者情報データベース106aおよび商品情報データベース106b等を参照して、他の利用者に対して商品Aをリコメンドする商品リコメンド処理を実行する（ステップSB-4）。

【0183】なお、サーバ装置100は、商品Aを販売するオンラインショッピングサイトAに対して、利用者Aが利用者B等に対して商品Aを勧めている旨を、通知してもよい。これにより、オンラインショッピング側は、自己の商品がリコメンドされている旨を即座に把握することが可能になる。

【0184】について、各利用者のクライアント装置200に対して、商品Aがリコメンドされると、各利用者のうち商品Aに興味を有する者は、そのリコメンド情報に基づいて、オンラインショッピングサイト400にアクセスする（ステップSB-5）。

【0185】について、オンラインショッピングサイト4

10

20

30

40

50

00は、リコメンドされた利用者Bが商品Aを購入した場合には、推薦した利用者A、および、サーバ装置100に対して、キックバックを行う（ステップSB-6）。

【0186】（他の実施の形態）さて、これまで本発明の実施の形態について説明したが、本発明は、上述した実施の形態以外にも、上記特許請求の範囲に記載した技術的思想の範囲内において種々の異なる実施の形態にて実施されてよいものである。

【0187】例えば、上述した実施形態では、友人リストに登録された利用者Aにリコメンドしているが、オンラインURLロケートリスト、WWWURLロケートリスト、および、拒否リスト等に登録された、推薦者である利用者に関連する者に対してリコメンドしてもよい。

【0188】また、サーバ装置100により実行される処理のうち少なくとも一部は、クライアント装置200により実行できることは、当業者にとって容易に理解できる。

【0189】また、サーバ装置100から、クライアント装置200に対して、利用者が勧めている商品を購入するための商品購入ボタンを含む表示画面情報を送信してもよい。これにより、利用者はクライアント装置200のモニタに表示された商品購入ボタンを含む表示画面を見ながら、マウス等で商品購入ボタンをクリックすることにより、利用者識別子および商品名を含む購入指示をサーバ装置100またはオンラインショッピングサイト400に自動的に送信することができる。サーバ装置100またはオンラインショッピングサイト400は、当該購入指示を受信すると、所定の購入処理を実行することができる。従って、リコメンドを受けた利用者は表示画面上の購入ボタンをワンクリックすることにより、所望の商品を購入することができるようになる。

【0190】また、オンラインショッピングサイト400と、クライアント装置200との間の通信手段として、サーバ装置100が提供する各種のコミュニケーションサービスを用いてもよい。これにより、利用者は、各種のコミュニケーションサービスを用いてオンラインショッピングサイト400とコミュニケーションすることができるようになるため、より利便性が增大する。また、リコメンドを受けた利用者が、その商品についてオンラインショッピングサイト400にアクセスする場合においても、リアルタイムメッセージ等を利用することにより、より簡易にアクセスすることが可能になる。

【0191】また、実施形態において説明した各処理のうち、自動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を手動的に行うこともでき、あるいは、手動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を公知の方法で自動的に行うこともできる。この他、上記文書中や図面中で示した処理手順、制御手順、具体的名称、各種の登録データや検索条件等のパラメー

タを含む情報、画面例、データベース構成については、特記する場合を除いて任意に変更することができる。

【0192】また、サーバ装置100に関して、図示の各構成要素は機能概念的なものであり、必ずしも物理的に図示の如く構成されていることを要しない。

【0193】例えば、サーバ装置100の各サーバが備える処理機能、特に制御部にて行なわれる各処理機能については、その全部または任意の一部を、CPU（Central Processing Unit）および当該CPUにて解釈実行されるプログラムにて実現することができ、あるいは、ワイヤードロジックによるハードウェアとして実現することも可能である。なお、プログラムは、図示しない本記録媒体に記録されており、必要に応じてサーバ装置100に機械的に読み取られる。

【0194】また、サーバ装置100は、さらなる構成要素として、マウス等の各種ポインティングデバイスやキーボードやイメージスキャナやデジタイザ等から成る入力装置（図示せず）、入力データのモニタに用いる表示装置（図示せず）、システムクロックを発生させるクロック発生部（図示せず）、および、各種処理結果その他のデータを出力するプリンタ等の出力装置（図示せず）を備えてもよく、また、入力装置、表示装置および出力装置は、それぞれ入出力インタフェースを介して制御部102に接続されてもよい。

【0195】記憶部に格納される各種のデータベース（利用者情報データベース106a～ホームページファイル106f）は、RAM、ROM等のメモリ装置、ハードディスク等の固定ディスク装置、フレキシブルディスク、光ディスク等のストレージ手段であり、各種処理やウェブサイト提供に用いる各種のプログラムやテーブルやファイルやデータベースやウェブページ用ファイル等を格納する。

【0196】また、サーバ装置100は、既知のパーソナルコンピュータ、ワークステーション等の情報処理端末等の情報処理装置にプリンタやモニタやイメージスキャナ等の周辺装置を接続し、該情報処理装置に本発明の方法を実現させるソフトウェア（プログラム、データ等を含む）を実装することにより実現してもよい。

【0197】さらに、サーバ装置100の分散・統合の具的形態は図示のものに限られず、その全部または一部を、各種の負荷等に応じた任意の単位で、機能的または物理的に分散・統合して構成することができる。例えば、各データベースを独立したデータベース装置として独立に構成してもよく、また、処理の一部をCGI（Common Gateway Interface）を用いて実現してもよい。

【0198】また、クライアント装置200は、既知のパーソナルコンピュータ、ワークステーション、家庭用ゲーム装置、インターネットTV、PHS端末、携帯端末、移動体通信端末またはPDA等の情報処理端末等の

情報処理装置にプリンタやモニタやイメージスキャナ等の周辺装置を必要に応じて接続し、該情報処理装置にウェブ情報のブラウジング機能や電子メール機能を実現させるソフトウェア（プログラム、データ等を含む）を実装することにより実現してもよい。

【0199】このクライアント装置200の制御部は、その全部または任意の一部を、CPUおよび当該CPUにて解釈実行されるプログラムにて実現することができる。すなわち、ROMまたはHDには、OS（Operating System）と協働してCPUに命令を与え、各種処理を行うためのコンピュータプログラムが記録されている。このコンピュータプログラムは、RAMにロードされることによって実行され、CPUと協働して制御部を構成する。

【0200】しかしながら、このコンピュータプログラムは、クライアント装置200に対して任意のネットワークを介して接続されたアプリケーションプログラムサーバに記録されてもよく、必要に応じてその全部または一部をダウンロードすることも可能である。このあるいは、各制御部の全部または任意の一部を、ワイヤードロジック等によるハードウェアとして実現することも可能である。

【0201】また、本発明にかかるプログラムを、コンピュータ読み取り可能な記録媒体に格納することもできる。ここで、この「記録媒体」とは、フロッピー（登録商標）ディスク、光磁気ディスク、ROM、EPROM、EEPROM、CD-ROM、MO、DVD等の任意の「可搬用の物理媒体」や、各種コンピュータシステムに内蔵されるROM、RAM、HD等の任意の「固定用の物理媒体」、あるいは、LAN、WAN、インターネットに代表されるネットワークを介してプログラムを送信する場合の通信回線や搬送波のように、短期にプログラムを保持する「通信媒体」を含むものとする。

【0202】また、「プログラム」とは、任意の言語や記述方法にて記述されたデータ処理方法であり、ソースコードやバイナリコード等の形式を問わない。なお、「プログラム」は必ずしも単一的に構成されるものに限られず、複数のモジュールやライブラリとして分散構成されるものや、OS（Operating System）に代表される別個のプログラムと協働してその機能を達成するものをも含む。なお、実施の形態に示した各装置において記録媒体を読み取るための具体的な構成、読み取り手順、あるいは、読み取り後のインストール手順等については、周知の構成や手順を用いることができる。

【0203】また、ネットワーク300は、サーバ装置100とクライアント装置200とを相互に接続する機能を有し、例えば、インターネットや、イントラネットや、LAN（有線／無線の双方を含む）や、VANや、パソコン通信網や、公衆電話網（アナログ／デジタルの

双方を含む）や、専用回線網（アナログ／デジタルの双方を含む）や、CATV網や、IMT2000方式、GSM方式またはPDC／PDC-P方式等の携帯回線交換網／携帯パケット交換網や、無線呼出網や、Bluetooth等の局所無線網や、PHS網や、CS、BSまたはISDB等の衛星通信網等のうちいずれかを含んでもよい。すなわち、本システムは、有線・無線を問わず任意のネットワークを介して、各種データを送受信することができる。

10 【0204】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明によれば、オンラインショッピングサイトが販売する商品に関する商品情報を格納し、第1の利用者が所望の上記商品を推薦するためのリコメンド依頼を受信し、受信したリコメンド依頼に基づいて、第2の利用者に対して、第1の利用者が上記商品を勧めている旨を通知可能にするので、サーバ装置は登録された商品について利用者に対して効率的にリコメンドすることができるようになり、また、利用者が商品を購入した際にはオンラインショッピングからキックバックを受けることが可能になるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムを提供することができる。

20

【0205】また、これにより、利用者は、簡易な操作により商品の推薦文を多数の者に対して効率的に送信することにより、個人が広告媒体かつ個人商店として容易に活躍することができ、それにより個人の力を極大化することができるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムを提供することができる。

30

【0206】また、これにより、オンラインショッピングサイトは、コミュニケーションシステムの利用者に対して効率的に自己の商品を宣伝することができるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、商品リコメンド方法、および、プログラムを提供することができる。

【0207】また、本発明によれば、利用者に対して所定の関係を有する他の利用者である関係者の情報を格納し、第2の利用者は、第1の利用者の関係者として登録された利用者であるので、例えば、利用者コミュニケーションシステムが提供するお友達リスト等が存在する場合には、お友達リストに載った利用者に対してリコメンドすることができるようになる。

40

【0208】また、本発明によれば、商品情報は、商品の属性に関する商品属性情報を含み、利用者の属性に関する利用者属性情報を格納し、リコメンド依頼にて第1の利用者が推薦した商品の商品属性情報に関連する利用者属性情報を持つ利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、例えば、商品に興味を持っている利用者を抽出し、その利用者に対してリコメンド

50

することができるので、利用者に対して有益な情報を送信することができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0209】また、本発明によれば、利用者の間で個別にリアルタイムメッセージを送受信し、リコメンドは、リアルタイムメッセージを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0210】また、本発明によれば、第1の利用者とリアルタイムメッセージを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、該抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのリアルタイムメッセージを以前に送受信したことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0211】また、本発明によれば、利用者の間で電子メールを送受信し、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、電子メールを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの電子メールを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0212】また、本発明によれば、第1の利用者と電子メールを送受信した利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの電子メールを以前に送受信したことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0213】また、本発明によれば、利用者に対して、電子掲示板またはチャットを含むオンライントークを提供し、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、オンライントークを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムのオンライントークを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0214】また、本発明によれば、第1の利用者とオンライントークを行った利用者を抽出し、第2の利用者

は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムのオンライントークを以前に送受信したことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0215】また、本発明によれば、オンライントークを行っているときに、商品情報に関する書き込みがあった場合に、商品情報に関する書き込みに対して商品を販売するオンラインショッピングに関する情報を付加するので、コミュニケーションシステムのオンライントークで商品情報を書き込むと、そのオンラインショッピングサイトのURL等のリンクが自動的に設定される等、関連情報を自動的に付与することができる。また、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0216】また、本発明によれば、利用者に対して、利用者のホームページを提供し、リコメンドは、ホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、リコメンドは、利用者のホームページを用いて、第2の利用者に対して、第1の利用者が商品を勧めている旨を通知するので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを用いて他の利用者に対してリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0217】また、本発明によれば、第1の利用者のホームページにアクセスした利用者を抽出し、第2の利用者は、抽出された利用者であるので、コミュニケーションシステムの利用者のホームページを以前にアクセスしたことがある利用者に対して自動的にリコメンドすることができ、利用者は手軽にリコメンドすることができるようになり、また、商品の広告効率を高めることができるようになる。

【0218】また、本発明によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに関する情報、第1の利用者が勧めている商品に関する商品情報、および、第1の利用者に関する情報のうち少なくとも一つを第2の利用者の情報端末装置に対して通知可能にするので、推薦される側に必要な情報を送ることができ、効率的に商品をリコメンドすることができる。

【0219】また、本発明によれば、商品を販売するオンラインショッピングサイトに対して、第1の利用者が第2の利用者の情報端末装置に対して商品を勧めている旨を、通知可能にするので、オンラインショッピング側は、自己の商品がリコメンドされている旨を即座に把握することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本システムの全体構成の一例を示すブロック図

である。

【図2】第1実施形態における本システムのサービスイメージの一例を示す概要図である。

【図3】第2実施形態における本システムのサービスイメージの一例を示す概要図である。

【図4】本発明が適用されるサーバ装置100の構成の一例を示すブロック図である。

【図5】本実施形態における本システムの商品リコメン

ド処理の一例を示すフローチャートである。

【図6】本実施形態における本システムの商品リコメン

ド処理の一例を示すフローチャートである。

【図7】クライアント装置200のモニタに表示される商品A販売用ウェブページの表示画面の一例を示す図である。

【図8】電子メール処理部102dにより送信される商品リコメン

ド用の電子メールまたはリアルタイムメッセージの表示画面の一例を示す図である。

【図9】クライアント装置200のモニタに表示される、利用者AのBBS表示用ウェブページの表示画面の一例を示す図である。

【図10】クライアント装置200のモニタに表示される、利用者Aのホームページ表示用ウェブページの表示

画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

100 サーバ装置

102 制御部

102a 商品情報処理部

102b 商品リコメン

ド処理部

102c リアルタイムメッセージ処理部

102d 電子メール処理部

102e BBS処理部

102f ホームページ処理部

104 通信制御インタフェース部

106 記憶部

106a 利用者情報データベース

106b 商品情報データベース

106c リアルタイムメッセージファイル

106d 電子メールファイル

106e BBSファイル

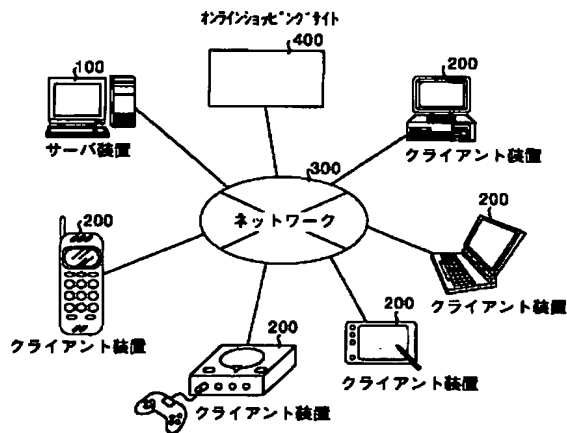
106f ホームページファイル

200 クライアント装置

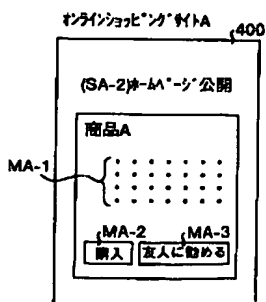
300 ネットワーク

400 オンラインショッピングサイト

【図1】



【図7】



画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

100 サーバ装置

102 制御部

102a 商品情報処理部

102b 商品リコメン

ド処理部

102c リアルタイムメッセージ処理部

102d 電子メール処理部

102e BBS処理部

102f ホームページ処理部

104 通信制御インタフェース部

106 記憶部

106a 利用者情報データベース

106b 商品情報データベース

106c リアルタイムメッセージファイル

106d 電子メールファイル

106e BBSファイル

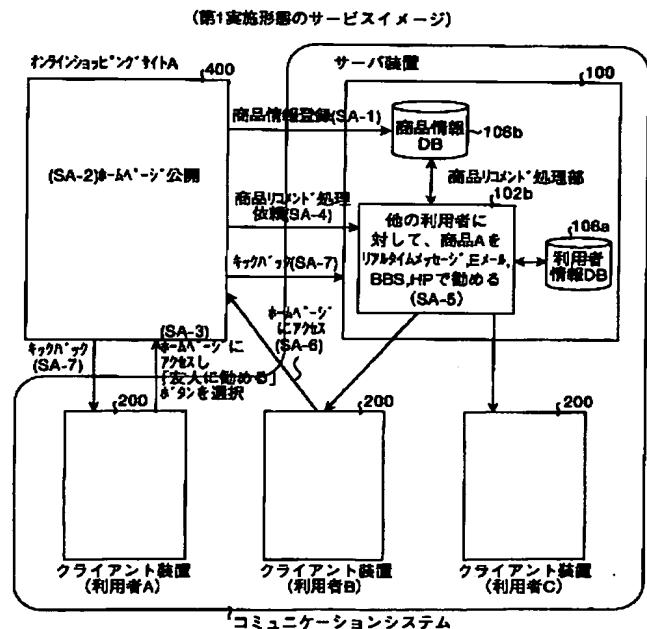
106f ホームページファイル

200 クライアント装置

300 ネットワーク

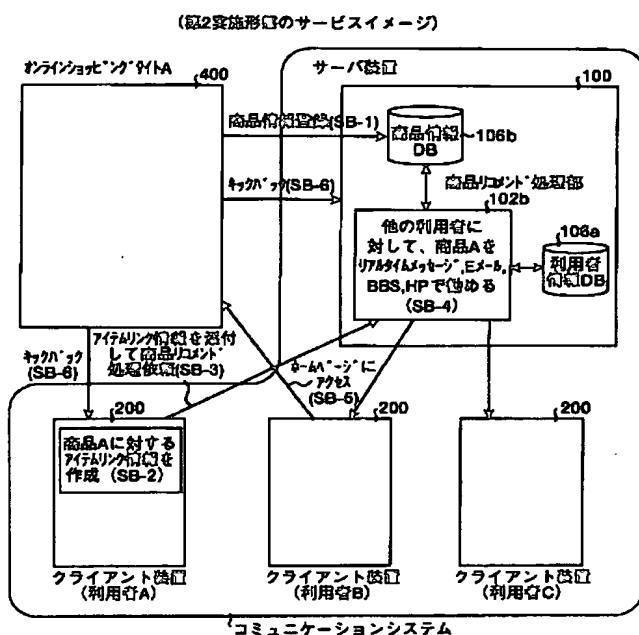
400 オンラインショッピングサイト

【図2】

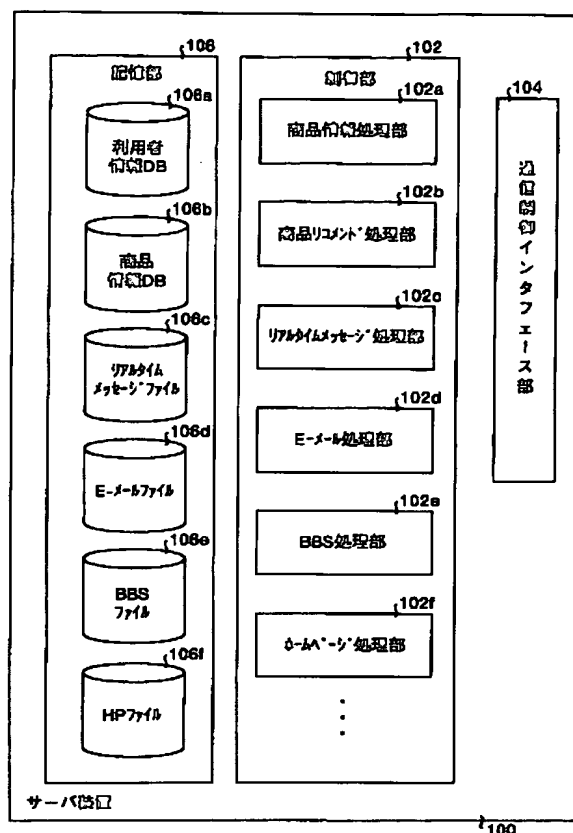
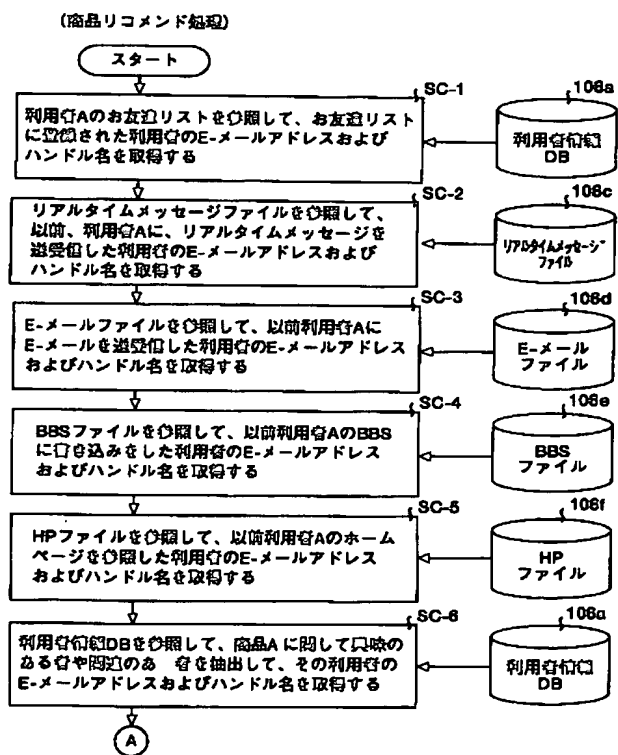




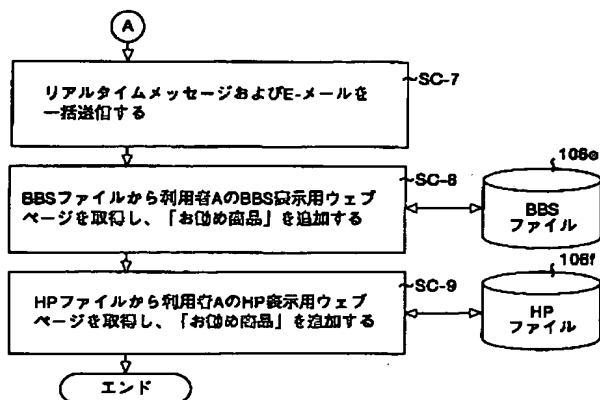
【図 4】



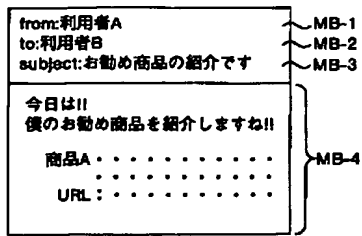
【图 5】



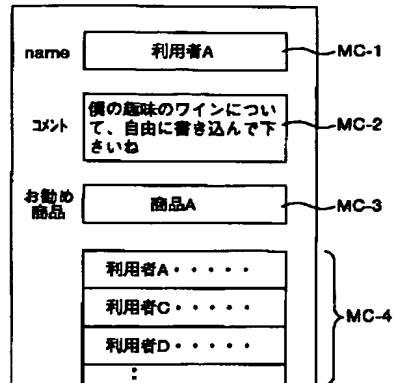
【図 6】



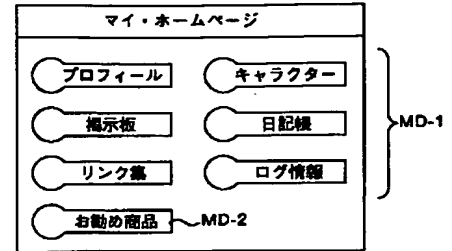
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/30

識別記号

1 7 0

3 4 0

F I

G 0 6 F 17/30

テーマコード(参考)

1 7 0 Z

3 4 0 A